

## 課題研究発表会

能代西高校では、総合学科における学習の集大成として、生徒自ら設定した課題に取り組んできた過程や成果を発表しあい、自己の進路選択や人間としての在り方・生き方について考えさせる機会として「課題研究発表会」を実施しています。

1月26日に行った発表会は、5系列7組のグループの3年生の代表が1、2年生や先生の前で、自分たちの行った研究内容をスライドショーや映像を使って発表しました。



→ 生徒が取り組んだ作品も展示されました



総合進学系列の「体の柔軟性について」の発表では、肩・太もも・股関節のストレッチを全校の生徒に体験させるなどし、ストレッチのメリットなどを報告したほか、半年間に渡って行った柔軟の結果などを発表しました。

また、生物資源系列の「鶏の肉質向上を目指して」では、鶏に水とコーラ、ビールを飲ませることで肉質にどのような変化が出るのか比較した発表が行われました。事前に生徒達に試食してもらいアンケートを行ったところ、水を飲ませた鶏よりも、コーラとビールを飲ませた鶏の方がおいしいと感じる結果となりました。

どの系列の発表も、研究を通して得られた経験や学んだことをわかりやすく説明したもので、先輩から後輩へのメッセージ性がとても強いものでした。

## 能代西高の取り組みがTVで紹介

1月4日と7日に、県政テレビ広報番組「あきたびじょん++ (プラスプラス)」で地元の農産物を使って商品開発した能代西高校の取り組みが放送されました。

ビジネス系列3年生の藤田里奈さん、佐々木莉沙さん、柴田唯さん、山内美香さんが代表として出演し「白神青ネギドレッシング」が完成するまでの取り組みや低温熟成酒「西の恵豊 (めぐみ)」の紹介などをしました。ドレッシングをかけたサラダを試食した大島アナは「ネギの風味が広がりとてもおいしい。どんな料理にも合いそう」とコメントしてくれました。また、藤田さんは「農業、商業、工業、生活福祉、総合進学系列の生徒が協力し合って6次産業の経験ができた。この貴重な体験を将来に活かし、地域を元気にしたいと思う」と話してくれました。

最後は、白神ねぎや酒米を栽培した生物資源系列の生徒も参加し「んだ。んだ。秋田！」と元気に締めくくりました。



↑ 能代西高の取り組みをPRしました



↑ 「地域を元気に！」 能代西高生は頑張ります